

議会評価意見書（令和 6 年度事業）

事業名	担い手等育成支援事業	
議会評価	事業内容：要改善	予算規模：縮小
【評価理由】 事業状況を確認したところ、生産者に必要な物品の内汎用性の高いものは除外し、産地維持につながるものを補助対象としている一方で、対象外となっている物品・機器等について不満の声がある。 事業実績として経営体・認定農業者の数や振興作物産出額の増加、予算の執行率等が示されているが、物品購入補助の事業実施が目的化し、本来の事業目的である「担い手育成」「産地振興」につながった評価が見えず、業務改善サイクル（PDCA）の有効性に疑問がある。また、継続事業で農家支援に一定の効果は見られるが、限られた財源の中での補助対象者・物品の基準に、整合性・公平・公正な支援の観点から問題や課題が見受けられる。特に収益性向上支援事業では顕著であった。 継続による一定の効果は見受けられるので、予算規模を縮小して、業務改善サイクル（PDCA）について再検討する機会とされたい。 【執行部への提案内容】 事業を行うことが目的となっているように見受けられる。他事業との関連を考慮し、選択と集中による効果的な事業となるよう、業務改善サイクル（PDCA）を生かされたい。 また、収益性向上支援事業については、小機材・小機器への補助は見直す必要があるため、令和 6 年度の補助実績を踏まえ、該当金額相当を縮小されたい。		